

第16回臨床教科教育学セミナー

テーマ〈新しい未来を創る「学び合い」〉



日時

2018年 **1**月**6**日(土)

8:00~17:40 (受付7:30~)

情報交換会&懇親会 18:00~20:00

場所

東京学芸大学小金井キャンパス
S棟(南講義棟)4階各講義室 ほか

主催等

主催：臨床教科教育学会

共催：東京学芸大学 後援：東京都教育委員会(申請中)

協賛：パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社、日本ナレッジ株式会社、東京書籍株式会社、株式会社ベネッセホールディングス、株式会社大学教育出版、公益財団法人日本教材文化研究財団

問合せ先

第16回臨床教科教育学セミナー大会事務局

東京学芸大学 鈴木直樹研究室内
TEL 042-329-7645(直通)
セミナーHP <http://www.u-gakugei.ac.jp/~rinkyo/>
e-mail rinsho.gakugei@gmail.com

学術研究と教育実践の橋渡しに！

臨床教科教育学会は、子どもたちの資質・能力の獲得に向けた「主体的・対話的で深い学び」を促す教育の実現を追究してきました。本セミナーでは、口頭発表、ポスターセッション、基調講演、パネルディスカッション、企業によるセミナーなど多数のプログラムが企画されています。この機会に口頭発表やポスター発表にも挑戦してみたいかでしょうか？ 学習者の視点に立ち、研究者と実践者の協働をより充実させ、より多くの人々の心に響く学術と実践の往還の実現を目指し、共に「学び合い」を深めましょう！

内容

受付 7:30~(S棟)

8:00~9:00 **モーニングセミナー**(企業によるセミナー)

「ICTを利活用した『学び合い』の創造」

9:10~9:50 **基調講演** 三崎 隆(信州大学教授)

「『学び合い』の授業づくりの実現に向けて」

10:00~12:00 **口頭発表①**

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 **ポスターセッション**

14:00~15:30 **口頭発表②**

15:40~17:40 **パネルディスカッション**

「『主体的・対話的で深い学び』の具体像に迫る」

モデレーター 鈴木直樹(東京学芸大学准教授)

パネリスト 白水 始(東京大学教授)

有元典文(横浜国立大学教授)

西川 純(上越教育大学教授)

18:00~20:00 **情報交換会&懇親会**(第1むさしのホール)

12:00-14:00
書籍販売
企業展示

参加費

*会費は当日受付にてお支払いください

学会員(一般・大学院生) 2,000円

学会員(学部生) 500円

学会員外 3,000円

情報交換会&懇親会
参加費 2,000円

申込方法

発表申込〆切を11月30日
に延長しました。

①発表申し込み：2017年11月15日(水)〆切

②参加申し込み：2017年12月15日(金)〆切

*参加・発表(口頭・ポスター)の申し込みの詳細は、セミナーHP(<http://www.u-gakugei.ac.jp/~rinkyo/>)をご確認ください。

セミナーHPにアクセスし、「申し込みフォーム」からお申し込みください。下記URLからも申し込みが可能です。必要事項を入力の上、お申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S13440664/>

(PC、スマホ共通) 右のQRコードからもアクセス可→



モーニングセミナー

ICT を利活用した「学び合い」の創造（企業によるセミナー）

本セミナーでは、学びの場を生み出す情報機器の使い手としての教育実践者を目指し、企業がこれまで蓄積してきた知を共有するとともに、新しい未来を創る「学び合い」を実現するための学びの場を設定します。

参加企業

Panasonic(パナソニック)	日本ナレッジ/東京書籍	Benesse (ベネッセ)
ICT 機器の活用による新たな授業観察、研修、授業スタイルの可能性	授業を支援する ICT 機器の活用～体育支援アプリ開発の軌跡と教科別応用の提案	ICT ツールを活用した深い学びの実現へ～小・中・高の学校教育における ICT 活用のメリット～

基調講演

『学び合い』の授業づくりの実現に向けて

平成 29 年 3 月告示の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が示され、学習内容のみならず、学び方へも言及しています。本講演では、子どもたちの『学び合い』の姿や今後の可能性などについて共に考えていきたいと思います。

三崎 隆

(信州大学 教授)



2017 年度より臨床教科教育学会長。北海道教育大学助教授等を経て 2010 年より現職。専門分野は、理科教育、臨床教科教育。主な研究テーマは、「gatekeeper と end user による個に応じた指導に関する学習臨床学的研究」、「小・中学校の教科教育の臨床場面における学習者の変容についての学習臨床学的研究」など。

パネルディスカッション

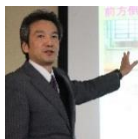
「主体的・対話的で深い学び」の具体像に迫る

新学習指導要領の全面実施に向けた移行期を迎えるにあたり、カリキュラム開発や授業改革に向けての手がかりを得るために、確かな理論に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の具体像に迫ります。

モデレーター

鈴木 直樹

(東京学芸大学 准教授)



小学校教員を 9 年経験後、埼玉大学で教鞭をとり、2009 年より現職。体育における学習評価、関係論的な学習観に立つ体育の授業づくり、体育における身体性などについて研究している。本セミナー大会実行委員長。

パネリスト

白水 始

東京大学 高大接続研究
開発センター 教授



中京大学で教鞭をとり、国立教育政策研究所初等中等教育研究部総括研究官を経て 2016 年より現職。専門分野は、学習科学、認知科学、教育学。『資質・能力 理論編』（東洋館出版社、2016 年）など著書多数。

有元 典文

横浜国立大学 教育学部
教授



早稲田大学、川村学園女子大学、東京学芸大学大学院で教鞭をとり、2000 年より現職。専門分野は、教育心理学。『デザインドリマリティ [増補版]—集合的達成の心理学』（北樹出版、2013 年）など著書多数。

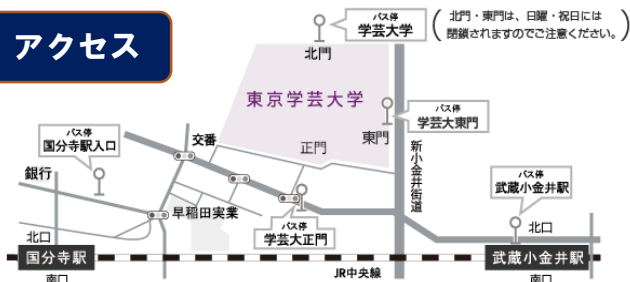
西川 純

上越教育大学大学院
学校教育研究科 教授



公立高校教諭、上越教育大学助手、同助教を経て、2001 年より現職。専門分野は、臨床教科教育学、教育学、科学教育、教科教育学。『みんなで取り組む「学び合い」入門』（明治図書、2017 年）など著書多数。前臨床教科教育学会長。

アクセス



* 会場へは、公共の交通機関をご利用ください。

JR 武蔵小金井駅・北口より

【京王バス】

〔5 番バス停〕「小平団地」行に乗車（約 10 分）「学芸大正門」下車
〔6 番バス停〕「中大循環」に乗車（約 10 分）「学芸大東門」下車

JR 国分寺駅より

【銀河鉄道バス】「国分寺駅入口」より「小平駅南口」行に乗車（約 10 分）「学芸大学」下車

【徒歩】約 20 分（JR 国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り / 小金井市保健センター前）

国立大学法人 東京学芸大学

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

TEL : 042-329-7111(代) <http://www.u-gakugei.ac.jp/>